

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校東京アナウンス学院
設置者名	学校法人 東放学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
文化教養専門課程	演技科 (2年制)	夜・通信	7単位 (210時間)	7単位 (80×2=160時間)	
	アナウンス科 (2年制)	夜・通信	7単位 (210時間)	7単位 (80×2=160時間)	
	声優科 (2年制)	夜・通信	7単位 (210時間)	7単位 (80×2=160時間)	
	配信クリエイター科 (2年制)	夜・通信	7単位 (195時間)	7単位 (80×2=160時間)	
	ダンスパフォーマンス科 (2年制)	夜・通信	7単位 (180時間)	7単位 (80×2=160時間)	
	エンターテインメント言語文化科 (1年制)	夜・通信	4単位	4単位	
(備考) ()内の数字(○単位時間)は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。エンターテインメント言語文化科は令和8年度(※今年度)新設学科					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。
(掲載：<https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/>)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校東京アナウンス学院
設置者名	学校法人 東放学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。
(掲載：<https://www.tohogakuen.ac.jp/about/detail/>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	2025. 5. 23～ 2027 年度決 算に係る評議 員会終結時ま で	経営等へのアドバイス
非常勤	国立大学教授 (リベラルアーツ研究教育院)	2025. 5. 23～ 2027 年度決 算に係る評議 員会終結時ま で	高等教育等へのアドバ イス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校東京アナウンス学院
設置者名	学校法人 東放学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (演技科(2年制)、アナウンス科(2年制)、声優科(2年制)、配信クリエイター科(2年制)、ダンスパフォーマンス科(2年制)) エンターテインメント言語文化科(1年制) 【作成について】 各授業科目については、学科ごとに定めたカリキュラム・ポリシーに基づき毎年見直しを図りながら検討を重ね、更に業界企業及び業界関係者の客観的な意見を取り入れながら、学科が授業科目の基盤を策定している。授業科目の具体的な内容や方法、到達目標、成績評価等は、各授業を担当する教員等が策定している。 授業科目名・担当教員名・開講年次・必要時間数/単位数・授業形態等を定め、学内の「シラバス作成ガイドライン(作成の方法と手引き)」に基づいて、授業の到達目標・授業概要・授業計画・評価方法・使用する教材等の事項は、全学科共通で統一様式を用いて記載するよう定めている。 【時期について】 前年度夏頃から次年度の教育活動及び開講科目他の見直しが検討される。教育課程編成委員会を経て学科ごとに確定し、12月～1月にかけて科目を担当する教員等に通達、シラバス作成のガイドラインに沿って2月を目途に作成。3月の講師会で再調整を図り、決定稿を学園HPで公開する。 年度や学期開始時、定期的に実施するオリエンテーションやホームルーム、各授業科目のガイダンス時に説明を施し、学生への周知・理解を促している。	
授業計画書の公表方法	掲載： https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則において、学内の成績評価、履修、卒業要件について規定している。 各学科で定める授業科目の実技試験や課題レポート等により成績評価を行っている。 (参考) 学則～抜粋～ 第4章 学習の評価・課程修了の認定 (学習の評価) 第10条 各科目の試験成績及び演習、実験、実習の成績は、100点をもって最高とし、50点以上を合格とする。 2 学習の評価は、A・B・C・D・Fをもって表し、100～85点をA、84～70点をB、69～60点をC、59～50点をD、50点未満をFとする。 (科目修了の認定) 第11条 科目修了の認定は、試験又はレポート提出によって行う。但し、実験及び実習は平素の成績によって認定することができる。 2 各科目について授業日数の3分の2以上の出席をもってその科目修了の認定を受けることができる。 (課程修了の認定) 第12条 本校において行う授業科目を履修し、試験等に合格した者には科目ごとに修了の認定を行い、第7条に定めた時間数/単位数以上の授業科目において科目修了の認定を受けた者には、課程修了の認定を行う。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各学期末の実技・筆記試験や課題レポート、習得意欲等の平常点によって総合的に判断する。評価は100点を以って満点とし、100～85点をA、84～70点をB、69～60点をC、59～50点をDとする。なお50点未満の者はFとする。上記A～D、Fまでの5段階の評価を、本校が定めるGPA計算式に当てはめ、客観的に算出された値によって成績状況や学科・学年の分布状況を適正に把握し、的確な学習指導を行っている。 〈GPA計算式〉 $\text{GPA} = \frac{(4 \times \text{A 修得単位数}) + (3 \times \text{B 修得単位数}) + (2 \times \text{C 修得単位数}) + (1 \times \text{D 修得単位数})}{\text{総履修単位数(F含む)}}$ ※GPAの計算は小数点第2位を四捨五入するものとする なお、上記の評価方法は学園HPまたは開講前のオリエンテーションやガイダンス時に学生へ説明がなされ周知される。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	掲載：https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校は、学園の掲げる「己と和と成長」を基本に、未来に向かって豊かな価値を創造し、メディアとエンターテインメントの発展に貢献できる人材の育成を目指している。

学園全体で定める教育理念や教育基本方針を念頭に置き、業界関係者等の客観的な意見を取り入れ、必要とされる人材・修得すべき能力等を鑑み、学科ごとに卒業認定（1 年制学科においては課程修了認定）・専門士付与の方針としてディプロマ・ポリシーを定めている。

これらに則した適正な評価・履修認定方法による成績評価によって、進級や卒業認定に関する判定会議等を実施。所定の授業科目、単位時間数を修得した学生に対し、教員個人の恣意的な判断ではなく多数の教員による客観的な判定により、卒業を認定している。

本校のディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）は、学園HPに公表している

卒業の認定に関する
方針の公表方法

掲載：<https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/>

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	専門学校東京アナウンス学院
設置者名	学校法人 東放学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月上旬に最新情報をHP公開している https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	演技科 (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位 (1,700単位時間)	8単位 (120単位 時間)	単位	54単位 (1,620単位 時間)	単位	単位
			62単位 (1,740単位時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		46人	1人	3人	13人	16人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 実習中心の授業は理解度の確認も含め、教室内の成果発表を数回実施している。学外活動も盛んに行われ、番組やイベント等の出演機会を提供、向上心の高い学生の積極的な学修支援に取り組んでいる。またクラスアドバイザー・進路担当者・スクールカウンセラーを配置し、学生の相談内容によって多様性を持たせ、組織的に対応できる体制を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	1人 (4.8%)	2人 (9.5%)	18人 (85.7%)

(主な就職、業界等) 公益財団法人新国立劇場運営財団(演劇研修所)、(合同)劇団俳優座、(株)文学座、(有)劇団青年座研究所、(株)劇団ひまわり、(株)スーパーエキセントリックシアター、(有)劇団扉座演技研究所、(株)劇団東俳、劇団俳協、(有)元氣プロジェクト、(株)ウィットプロモーション、(株)トライストーン・エンタテイメント、(株)アスタリスク、(株)キャストコーポレーション、スペースクラフト(株)、(有)エフ・エム・ジー、(株)ジェイズプロデュース、(株)サンミュージックプロダクション、(株)松竹エンタテイメント、(株)GFA、(株)ボックス・コーポレーションほか
(就職指導内容) 星誕オーディション(学内オーディション)、学科・企業別オーディション、模擬オーディション、オーディション対策(各種講座)、オーディション/求人検索システム(キャンパスプラン(学園総合情報システム))、進路セミナー、就職セミナー、学内企業説明会、応募書類添削、各種試験対策、就職支援系授業、進路相談等
(主な学修成果(資格・検定等)) 専門分野の技能と、芸能分野の特性を活かした共通の学修成果としてフリートークやセルフプロモーション等の対人能力が高まる。その他、ビジネス系の資格取得講座も履修が可能。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	4 人	8.3%
(中途退学の主な理由) 学費支弁困難、体調不良、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 生活の中で生じる学生の悩み等は、クラスアドバイザーが日々相談に応じ、保護者とも適切に情報共有している。学校内では職員会議、連絡会等を通じて共有し、学校全体で中途退学防止に取り組んでいる。 また、スクールカウンセラーによる学生カウンセリング、専用アドレスでのメール相談など、様々な方法や角度から悩み等を聞き取り、対応できる体制を取っている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		文化教養専門課程	アナウンス科 (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位 (1,700単位時間)	14単位 (210単位時間)		49単位 (1,500単位時間)		
				単位		単位	単位
		63単位 (1,710単位時間)					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
62人		14人	3人	5人	14人	19人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 実習中心の授業は理解度の確認も含め教室内の成果発表を数回実施している。学外活動も盛んに行われ、番組やイベント等の出演機会を提供、向上心の高い学生の積極的な学修支援に取り組んでいる。またクラスアドバイザー・進路担当者・スクールカウンセラーを配置し学生の相談内容によって多様性を持たせ、組織的に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	5人 (55.6%)	4人 (44.4%)
(主な就職、業界等) (株)ワイズキートン、(株)大沢事務所、(株)テレビ信州、公益財団法人日本道路交通情報センター、日本放送協会各地地方局、調布エフエム放送(株)、(株)ベルベットオフィス、北海道日本ハムファイターズ、(株)オー			

ルエイブアソシエツ、(株)ライトハウス、藤沢エフエム放送(株)、(株)京急アド・エンタープライズ、(株)ゆーりんプロ、(株)そごう、(株)東武百貨店、(株)京王百貨店、(株)ジョイスタッフ、(有)タイムリーオフィス、(株)TCP ほか
(就職指導内容) 星誕オーディション(学内オーディション)、学科・企業別オーディション、模擬オーディション、オーディション対策(各種講座)、オーディション/求人検索システム(キャンパスプラン(学園総合情報システム))、進路セミナー、就職セミナー、学内企業説明会、応募書類添削、各種試験対策、就職支援系授業、進路相談等
(主な学修成果(資格・検定等)) 専門分野の技能と、芸能分野の特性を活かした共通の学修成果としてフリートークやセルフプロモーション等の対人能力が高まる。その他、ビジネス系の資格取得講座も履修が可能。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	1 人	5.6%
(中途退学の主な理由) 学費支弁困難、体調不良、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 生活の中で生じる学生の悩み等は、クラスアドバイザーが日々相談に応じ、保護者とも適切に情報共有している。学校内では職員会議、連絡会等を通じて共有し、学校全体で中途退学防止に取り組んでいる。 また、スクールカウンセラーによる学生カウンセリング、専用アドレスでのメール相談など、様々な方法や角度から悩み等を聞き取り、対応できる体制を取っている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	声優科 (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位 (1,700単位時間)	14単位 (420単位時間)		60単位 (1,590単位時間)		
			単位	単位	単位	単位	単位
			74単位 (2,010単位時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		165人	38人	3人	34人	37人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 実習中心の授業は理解度の確認も含め教室内の成果発表を数回実施している。学外活動も盛んに行われ、番組やイベント等の出演機会を提供、向上心の高い学生の積極的な学修支援に取り組んでいる。またクラスアドバイザー・進路担当者・スクールカウンセラーを配置し学生の相談内容によって多様性を持たせ、組織的に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
114人 (100%)	8人 (7.0%)	25人 (21.9%)	81人 (71.1%)
(主な就職、業界等) (株)青二プロダクション、(株)アーツビジョン、(株)81プロデュース、(株)マウスプロモーション、(株)シグマ・セブン、スペースクラフト(株)、(株)賢プロダクション、(株)おろだくしょんバオバブ、新国立劇場演劇研修所、(有)劇団扉			

座、(株)演劇集団・円、(株)文学座、(株)劇団ひまわり、劇団昴一般社団法人、(株)劇団スーパーエ キセントリックシアター、(株)ワタベ・エンターテインメント、(株)サンミュージックプロダクション、(株)トライストーン・エンタテイメント、 (株)アトミックモンキー、(株)ケンウッドオフィス、(株)大沢事務所、東京俳優生活共同組合、プロダクションエース、(株)ア セント、(株)ステイラック、BLACK SHIP(株)、(株)ボイスキットほか
(就職指導内容) 星誕オーディション(学内オーディション)、学科・企業別オーディション、模擬オーデ ィション、オーディション対策(各種講座)、オーディション/求人検索システム(キャンパス プラン(学園総合情報システム))、進路セミナー、就職セミナー、学内企業説明会、応 募書類添削、各種試験対策、就職支援系授業、進路相談等
(主な学修成果(資格・検定等)) 専門分野の技能と、芸能分野の特性を活かした共通の学修成果としてフリートークやセ ルフプロモーション等の対人能力が高まる。その他、ビジネス系の資格取得講座も履修 が可能。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
211 人	8 人	3.8%
(中途退学の主な理由) 学費支弁困難、体調不良、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 生活の中で生じる学生の悩み等は、クラスアドバイザーが日々相談に応じ、保護 者とも適切に情報共有している。学校内では職員会議、連絡会等を通じて共有し、 学校全体で中途退学防止に取り組んでいる。 また、スクールカウンセラーによる学生カウンセリング、専用アドレスでのメー ル相談など、様々な方法や角度から悩み等を聞き取り、対応できる体制を取ってい る。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	配信クリエイター科 (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位 (1,700単位時間)	10単位 (150単位時間)	単位	54単位 (1,590単位時間)	単位	単位
			64単位 (1,740単位時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		46人	3人	3人	15人	18人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 実習中心の授業は理解度の確認も含め教室内の成果発表を数回実施している。学外活動も盛んに行われ、番組やイベント等の出演機会を提供、向上心の高い学生の積極的な学修支援に取り組んでいる。またクラスアドバイザー・進路担当者・スクールカウンセラーを配置し学生の相談内容によって多様性を持たせ、組織的に対応できる体制を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	5人 (41.7%)	7人 (58.3%)
(主な就職、業界等) ㈱ホリプロ、㈱浅井企画、㈱マセキ芸能社、㈱太田プロダクション、㈱ケイダッシュステージ、㈱サンミュージックプロダクション、㈱リタナベエンターテインメント、㈱アップフロントエージェンシー、松竹芸能㈱、(有)イエローテイル、㈱ライム			

ライト、(株)キャストコーポレーション、(株)アデッツ、(株)flower、木生(株)ほか

(就職指導内容) 星誕オーディション(学内オーディション)、学科・企業別オーディション、模擬オーディション、オーディション対策(各種講座)、オーディション/求人検索システム(キャンパスプラン(学園総合情報システム))、進路セミナー、就職セミナー、学内企業説明会、応募書類添削、各種試験対策、就職支援系授業、進路相談等
(主な学修成果(資格・検定等)) 専門分野の技能と、芸能分野の特性を活かした共通の学修成果としてフリートークやセルフプロモーション等の対人能力が高まる。その他、ビジネス系の資格取得講座も履修が可能。
(備考) (任意記載事項) 卒業生のデータは前学科名「芸能バラエティ科」の実績を含む。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	2人	4.3%
(中途退学の主な理由) 学費支弁困難、体調不良、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 生活の中で生じる学生の悩み等は、クラスアドバイザーが日々相談に応じ、保護者とも適切に情報共有している。学校内では職員会議、連絡会等を通じて共有し、学校全体で中途退学防止に取り組んでいる。 また、スクールカウンセラーによる学生カウンセリング、専用アドレスでのメール相談など、様々な方法や角度から悩み等を聞き取り、対応できる体制を取っている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化教養専門課程	ダンスパフォーマンス科 (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62単位 (1,700単位時間)	10単位 (150単位時間)	単位	54単位 (1,590単位時間)	単位	単位
			64単位 (1,740単位時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
58人		11人	0人	3人	18人	21人	
(備考) () 内の数字 (○単位時間) は、令和7年度以前入学者に適用される単位時間を記載している。							

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 実習中心の授業は理解度の確認も含め教室内の成果発表を数回実施している。学外活動も盛んに行われ、番組やイベント等の出演機会を提供、向上心の高い学生の積極的な学修支援に取り組んでいる。またクラスアドバイザー・進路担当者・スクールカウンセラーを配置し学生の相談内容によって多様性を持たせ、組織的に対応できる体制を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	9人 (100%)
(主な就職、業界等) TOKYO B-BOY、(株)リズムメディア、(株)プランチャム、SLIM and TONE、(株)ネサンス、EXILE			

PROFESSIONAL GYM(株LDH JAPAN)、(株)ゼイロック、合同会社ユー・エス・ジエイ(ユニバーサルスタジオジャパン)、(株)K Village、GODAI DANCE STUDIO ほか
(就職指導内容) 星誕オーディション(学内オーディション)、学科・企業別オーディション、模擬オーディション、オーディション対策(各種講座)、オーディション/求人検索システム(キャンパスプラン(学園総合情報システム))、進路セミナー、就職セミナー、学内企業説明会、応募書類添削、各種試験対策、就職支援系授業、進路相談等
(主な学修成果(資格・検定等)) 専門分野の技能と、芸能分野の特性を活かした共通の学修成果としてフリートークやセルフプロモーション等の対人能力が高まる。その他、ビジネス系の資格取得講座も履修が可能。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	3 人	16.7%
(中途退学の主な理由) 学費支弁困難、体調不良、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 生活の中で生じる学生の悩み等は、クラスアドバイザーが日々相談に応じ、保護者とも適切に情報共有している。学校内では職員会議、連絡会等を通じて共有し、学校全体で中途退学防止に取り組んでいる。 また、スクールカウンセラーによる学生カウンセリング、専用アドレスでのメール相談など、様々な方法や角度から悩み等を聞き取り、対応できる体制を取っている。		

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		文化教養専門課程		エンターテインメント 言語文化科 (1年制)					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
1年	昼	31単位		24単位	8単位	15単位	単位	単位	
				47単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
31人		58人	56人	3人		3人		6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
(概要) 学生が主体的に学べるよう、エンターテインメントを題材とした科目を配置したカリキュラムを展開している。また、クラスアドバイザー・スクールカウンセラーを配置し、学生の相談内容によって多様性を持たせ、組織的に対応できる体制を整えている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 星誕オーディション(学内オーディション)、オーディション/求人検索システム(キャンパスプラン(学園総合情報システム))、学内企業説明会、応募書類添削、各種試験対策、就			

職支援系授業、進路相談等
(主な学修成果(資格・検定等)) 専門分野の技能と、国際色豊かな環境を活かした共通の学修成果として、エンターテインメント作品を題材とした実習を通じた日本語コミュニケーション能力や対人対応力、自己表現力が高まる。その他、日本語能力試験の対策講座やビジネス系の資格取得講座も履修が可能。
(備考) エンタメ言語文化科は令和 8 年度(※今年度)新設の学科であり、まだ修了生が出ていないため、実績値はなし。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 生活の中で生じる学生の悩み等は、クラスアドバイザーが日々相談に応じ、保護者とも適切に情報共有している。学校内では職員会議、連絡会等を通じて共有し、学校全体で中途退学防止に取り組んでいる。 また、スクールカウンセラーによる学生カウンセリング、専用アドレスでのメール相談など、様々な方法や角度から悩み等を聞き取り、対応できる体制を取っている。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
演技科 (2 年制)	200,000 円	800,000 円	430,000 円	
アナウンス科 (2 年制)	200,000 円	800,000 円	430,000 円	
声優科 (2 年制)	200,000 円	800,000 円	430,000 円	
配信クリエイター科 (2 年制)	200,000 円	800,000 円	430,000 円	
ダンスパフォーマンス科 (2 年制)	200,000 円	800,000 円	430,000 円	
エンターテインメント 言語文化科(1 年制)	200,000 円	586,000 円	134,000 円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校 HP で公開している https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者評価は教育の充実を図り、随時改善を図ることを目的とする。委員会は業界関係者・卒業生等で組織し、それぞれの知見を活かして教育内容・学校運営等について評価を行っている。評価内容は運営委員会等で報告され、学園HPで公表し次年度以降の改善に取り組んでいる。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
関連業界企業 役員	2025.4.1～ 2027.3.31 ※任期更新手続中	進路所属先及び関連業界関係者
高等学校 教諭	2025.4.1～ 2027.3.31 ※任期更新手続中	高等学校関係者
保護者	2025.4.1～ 2027.3.31	保護者
関連業界企業 社員	2026.4.1～ 2028.3.31	卒業生
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HPに公開している https://www.tohogakuen.ac.jp/about/valuation/		
(備考)		
第三者評価は未実施。次年度以降の実施時期については現在未定であるため、学校関係者評価の結果をもって代える。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.tohogakuen.ac.jp/announce/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113311400139
学校名（〇〇大学 等）	専門学校東京アナウンス学院
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人東放学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		77人（ 35 ）人	75人（ 35 ）人	77人（ 35 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	24人	25人	
	（うち多子世帯）	（ 一人）	（ 一人）	
	第Ⅱ区分	11人	12人	
	（うち多子世帯）	（ 一人）	（ 一人）	
	第Ⅲ区分	一人	一人	
	（うち多子世帯）	（ 一人）	（ 一人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	13人	10人	
	区分外（多子世帯）	11人	14人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				77人（ 35 ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	一人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	一人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	一人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	一人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	一人	一人
計	人	一人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。